



## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(氏名) 秦野 和浩

(氏名) 高橋 明宏

TEL 06-6150-2582

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
22年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,745	30.9	335	21.2	329	35.5	189	35.3
	1,333	—	276	—	243	—	139	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年3月期第3四半期	円 銭		円 銭					
21年3月期第3四半期	15.33		—					
	11.34		—					

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
22年3月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期	1,303	968	74.3	78.46
	1,255	916	73.0	74.22

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 968百万円 21年3月期 916百万円

#### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	11.00	11.00
22年3月期 (予想)				11.00	11.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

#### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	2,402	18.0	457	△16.8	451	△12.4	259	△13.7	20.98

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名) ) 除外 一社 (社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 12,370,000株 21年3月期 12,370,000株  
② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 25,000株 21年3月期 25,000株  
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 12,345,000株 21年3月期第3四半期 12,332,545株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記の連結業績予想につきましては平成21年5月15日に公表いたしました内容から変更しております。詳細につきましては、本日(平成22年1月29日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(2) 上記資料には、本資料発表日の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な金融不安による景気悪化に対応した一連の景気対策で、景気の底打ちの動きは見られたものの、個人消費の先行き不透明感による消費マインドの冷え込みが強く、経済活動は低水準で推移するなど、厳しい情勢が続いております。

一方、医薬品業界におきましても、激しい国際競争の中で経営統合や合併等の再編が続いており、これらの合理化により生じた資金を市場投入への期待が高い開発品目に重点的に投入する傾向が一層顕著になってきております。

このような流れの中で、当社グループが属する医薬品開発業務受託（C R O）業界は、引き続き成長を続けております。ことに治験モニタリング業務および品質管理業務において、適正な受託費で信頼性の高いデータの収集能力を有するC R Oに対する製薬会社の期待は高く、この意味でC R O業界でも淘汰が進んでおります。

このような状況下、当社グループのC R O事業については、実施中の受託案件の2件について中止があったことに加え、新規の受託案件の獲得が遅れた影響により当初の通期業績予想の売上高を下回る見込みとなりました。また、当第3四半期連結累計期間において新規事業として開始いたしました製薬会社に対する医療機関向け医薬品販売支援（C S O）事業については、新規案件の受託により収益に貢献することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,745百万円（前年同四半期比30.9%増）、経常利益は329百万円（前年同四半期比35.5%増）、四半期純利益は189百万円（前年同四半期比35.3%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ47百万円増加し、1,303百万円（3.8%増）となりました。これは、主に現金及び預金の増加並びに売掛金の減少によるものであります。

#### (2) 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ4百万円減少し、335百万円（1.3%減）となりました。これは、主に短期借入金の増加及び未払法人税等の減少によるものであります。

#### (3) 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ52百万円増加し、968百万円（5.7%増）となりました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

#### (1) 概要

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間の売上高を上回る水準で推移しておりますが、C R O事業において実施中の受託案件の2件について中止があったこと及び新規の受託案件の獲得が遅れた影響により、通期の連結業績は、売上高2,402百万円（前期比18.0%増）、営業利益457百万円（前期比16.8%減）、経常利益451百万円（前期比12.4%減）、当期純利益259百万円（前期比13.7%減）を予想しております。詳細につきましては、本日（平成22年1月29日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

#### (2) 受注残高の推移

弊社の受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成21年3月末の受注残高に比べ平成22年1月29日時点の受注残高は43.3%減少しておりますが、これは当第3四半期連結累計期間において、既存の委受託契約を順調に消化した結果、受注残高の金額が売上高として計上されたことに加え、既存の委受託契約のうち2件の案件（案件中止時点での受注残高の合計額597百万円、このうち当期の売上高減少への影響額225百万円）について中止となったことによります。

当初の計画に従い、当第3四半期連結累計期間における人員の採用と教育は順調に進んでおり、新規クライアントを含め大手製薬会社を中心とする受託業務の拡大を図り、成長性と安定性を確保してまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

		平成21年 3月期末 (A)	平成22年3月期		増減率(%) (B-A)/A
			第3四半期末	平成22年1月 29日時点 (B)	
受注残高		3,956	2,095	2,243	△43.3
内訳	武田薬品	896	18	18	△98.0
	大塚製薬	893	968	968	8.4
	エーザイ	1,398	799	799	△42.8
	その他	768	309	457	△40.5

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	581,142	452,236
売掛金	259,157	431,110
有価証券	100,661	100,540
前払費用	21,390	19,983
繰延税金資産	13,930	26,912
立替金	26,440	25,318
その他	179	99
流动資産合計	1,002,902	1,056,202
固定資産		
有形固定資産	58,734	52,329
無形固定資産	2,480	3,279
投資その他の資産		
差入保証金	230,129	138,274
その他	9,470	5,766
投資その他の資産合計	239,600	144,041
固定資産合計	300,815	199,650
<b>資産合計</b>	<b>1,303,717</b>	<b>1,255,853</b>
<b>负债の部</b>		
流动负债		
短期借入金	75,000	—
未払金	63,830	51,893
未払費用	31,927	29,150
未払法人税等	24,032	118,210
未払消費税等	23,961	36,716
未払配当金	417	—
預り金	45,792	23,351
賞与引当金	26,782	40,740
リース債務	14,340	13,904
流动负债合計	306,085	313,966
固定负债		
リース債務	18,359	25,632
退職給付引当金	10,674	—
固定负债合計	29,034	25,632
<b>负债合計</b>	<b>335,119</b>	<b>339,598</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	694,774	641,328
自己株式	△9,839	△9,839
株主資本合計	971,978	918,532
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△3,379	△2,277
評価・換算差額等合計	△3,379	△2,277
<b>純資産合計</b>	<b>968,598</b>	<b>916,254</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,303,717</b>	<b>1,255,853</b>

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	1,333,418	1,745,842
売上原価	629,562	969,266
売上総利益	703,855	776,576
販売費及び一般管理費	426,968	441,081
営業利益	276,887	335,495
営業外収益		
受取利息	792	299
為替差益	—	263
その他	12	—
営業外収益合計	804	563
営業外費用		
支払利息	1,502	1,399
為替差損	33	—
株式公開費用	30,626	—
株式交付費	1,651	—
創立費償却	508	—
事務所移転費用	—	5,038
その他	25	—
営業外費用合計	34,348	6,438
経常利益	243,344	329,619
税金等調整前四半期純利益	243,344	329,619
法人税、住民税及び事業税	89,350	131,733
法人税等調整額	14,082	8,645
法人税等合計	103,433	140,379
四半期純利益	139,910	189,240

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	501,866	506,834
売上原価	263,122	370,142
売上総利益	238,743	136,691
販売費及び一般管理費	161,204	165,650
営業利益又は営業損失(△)	77,538	△28,958
営業外収益		
受取利息	193	58
為替差益	—	263
その他	30	—
営業外収益合計	224	322
営業外費用		
支払利息	464	410
為替差損	291	—
株式公開費用	12,872	—
株式交付費	996	—
事務所移転費用	—	5,038
営業外費用合計	14,623	5,449
経常利益又は経常損失(△)	63,139	△34,085
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	63,139	△34,085
法人税、住民税及び事業税	17,679	△28,535
法人税等調整額	10,262	17,555
法人税等合計	27,942	△10,980
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,197	△23,105

(3) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

当連結グループは、同一セグメントに属するC R O事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

C R O事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当連結グループは、同一セグメントに属するC R O事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

C R O事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。